

総務企画常任委員会に付託を受けた議案および予算常任委員会総務企画分科会に
分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆委員長／中西庸介
- ◆副委員長／森 憲一
- ◆委員／磯貝和典、久保吉彦、杉木 勉、
杉本忠一



七尾市役所で防犯講習会を開催した様子

主な審議内容

【議案第1号】

平成30年度七尾市一般会計予算

◆地域おこし協力隊活動事業費について

- ① 地域おこし協力隊の配置基準について、どのような基準があるのか。今は4地区に配置されているが、地区で要望するときは条件とかあるのか。
- ② 協力してくれる、受け入れてくれるという地域の意思表示がまずは条件となる。あとは具体的にどのような取り組みをするのかがはっきりしていないと募集するのは難しい。
- ③ 地域おこし協力隊の実績報告は毎年あがっているのか。
- ④ 毎月1回、定期的に報告を受けており、最大3年の任期ということで3年間報告を受ける。そのなかで、能登島地区に配置されている方が、満期を迎え、そのまま能登島に定住するという事になった。地域で創業して住民となる、そして地域おこしの協力をするといったことで、この方が実績として地域に根付いたことになり、七尾市では初めてとなる。
- ⑤ これまでは、あまりいい報告がなく、3年間で何を貢献していったのかわからないものもあった。1年に1度はどういった活動をしたのか報告をしてもらいたい。
- ⑥ 1年間の活動をまとめたものを今後は報告させてもらう。



地域おこし協力隊の任期を終え能登島に定住した小山さん

【議案第1号】

平成30年度七尾市一般会計予算

◆海岸漂着物地域対策推進事業費について

- ① 最近、木造の難破船・不審船が日本海に漂着している。県が管理しているのが2箇所、七尾市が管理しているのが1箇所となっているが、それ以外の箇所で不審船が漂着した場合はどうするのか。
- ② 今年度は能登半島の外浦の方で多く不審船の漂着があった。現段階ではこのような予算措置だが、石川県の方で予算計上とは別に予算立てて対応しているという事例があるので、そのような事例があった場合は、石川県と協議して対応したい。

【議案第1号】

平成30年度七尾市一般会計予算

◆ごみ処理施設整備事業費について

- ① 新しく建設するごみ処理施設の実施設計のスケジュールはどうなっているのか。
- ② 廃棄物の建物は件数が少ないこともあり、実施設計と工事を一括して契約する。また20年間分の運営部分も含めた委託について検討している。基本設計は今後2年間で行い、その基本設計に基づいて、プラントメーカーにいろいろ提案してもらって設計工事してもらう予定。
- ③ どのような仕様で、どのような人が評価するのか。
- ④ 市である程度の水準を満たすものを仕様にする。その基準を満たした企業に、さらに技術提案してもらって審査をしていく。落札の評価については、総合評価落札方式を取り入れて行う予定。廃棄物施設という特殊な施設ということもあるので、その分野に精通した学識のある先生を入れて調整をしていく予定である。

【その他】

◆金沢市役所で起きた傷害事件について

- ① 先日、金沢市役所で大変な傷害事件が起きた。市役所は市民が大いに利用するところであり、こういう事件が七尾市役所においても起こらないとも限らないので、七尾市役所としての今後の対応について、どのように考えているのか。
- ② 金沢市役所において、本当に痛ましい事件が起きて驚いている。どこにでも発生する恐れのある事案だと思う。七尾市役所においては、庁舎の管理規定を設けており、そのなかで庁舎内での秩序を乱す場合は退去命令を行うことができるとしており、それにも従わない場合は警察への通報ということになっている。これまで、七尾市役所でも行政への不満等で秩序を乱す場面もあったが、幸い傷害事件にまでは至っていない。今後はどういったことが起きるか分からないので、各部署において、刺股などの護身用道具の設置について調査をしているところで、必要なところには配備したいと考えている。職員はもとより、市民が入り出す場所であるので、安全対策について今後しっかりと対応していく。